



「ザクセン? ザクセンって何ですか。」

よくこのように訊かれます。ドイツの連邦州です。これが最初の返事です。ザクセンはドイツのどこにあるのでしょうか? 簡潔な返事をするためには、ベルリンとプラハの間に位置していると答えるでしょう。もしかしたら、ザクセンは、チェコとポーランドそしてバイエルン州に隣接していると付け加えるかもしれません。「ミュンヘンやフランクフルトからどのくらい離れているのですか。」 飛行機では、ドレスデンやライプチヒへたったの45分しかかかりませんと返事をするでしょう。さて、それから肝心な質問が来ます。「なぜそのザクセンに行くべきなのですか?」その時、今が、ザクセンがドイツで経済的に最も繁栄していた時代であった第2次世界大戦前で、世界中のビジネスマンや観光客がザクセンに来るのが当たり前だった時代であったら、と思います。それから鉄のカーテンがおり、829年間一族が統治し

て、ヨーロッパをリードしていた1000年の歴史が、世界の大部分で、忘れ去られてしまいました。しかしドイツの統一後、ザクセンを訪れる観光客は増えています。以前ザクセンの魅力だったものは今でも存在しているのです。荘厳な建築物、世界に誇れる美術コレクション、深く根付いている音楽への愛情、今も息づいている伝統と世界史の舞台になった場所、ザクセン人の故郷に対する深い愛情と生きる喜び。「ザクセンには他の観光地にはないものがあるのでしょうか?」たくさんあります。でもここでは、逐一説明することができません。どうか、英語のホームページwww.visitsaxony.comをご覧ください。そこから日本語の情報を得ることができます。お国の国旗をクリックしてください。そしてザクセンを訪れてください。心から歓迎いたします。

ザクセンのトラベルガイド

ドイツ観光に欠かせない観光地

SAXONY. STATE OF THE ARTS.



ドイツの文化観光地 No.1

ザクセンを知っている人はほとんど、すぐ文化について思い浮かべます。これは、ザクセンを829年統治したヴェッティン家の人々が藝術を愛し富裕だったからです。豪華な建物を建て、膨大な美術品を収集し、才能のある作曲家や音楽家を後援しました。エルベ川のフィレンチェと呼ばれるドレスデンだけでも、美しい建築物 -日本宮殿もそのひとつですが- や美術品コレクションで有名です。ライプチヒも世界で最古の見本市のある都市であり、商業関係の建築物が観光できます。一方小さい都市の中にも、ドイツで最大の文化財都市であるゲルリッツやザクセンの発祥地であるマイセン、フライベルク、ビルナ、トルガウなどの古都が輝いています。これらの都市は、とてもロマンチックです！ドレスデンの州立アートコレクションの様々な美術館は、世界でも秀逸な美術品を展示しています。例えば、有名な陶磁器コレクションでは、ザクセン初期の陶磁器や中国の名器また17世紀や18世紀の高貴な伊万里焼や柿右衛門様式などの陶磁器が展示されています。現代美術の愛好家には、ケムニッツやライプチヒに、ビビッドかつ成功を収めている現代アート・シーンが存在します。音楽愛好家は、一週間音楽だけの観光をすることができます。ライプチヒは、傑出した音楽史で、音楽の都ウィーンと肩を並べます。ライプチヒでは、バッハの墓だけでなく、メンデルスゾーンやシューマンの住居やワーグナーの生家があった地も見学できます。ツヴィッカウのシューマンハウスや、ドレスデンのウェーバー博物館、グラウバのワーグナー博物館も一見に値します。ザクセンは、音楽フェスティバルや、ザクセン州立オーケストラ、ゲバントハウスオーケストラ、すでにヨハン・セバスティアン・バッハも指導していたトーマス教会少年合唱団などの演奏でも有名です。楽器制作は、特にフォークトランド、また他のザクセンの地でも、おこなわれてきました。マルクノイキルヘンやライプチヒの楽器博物館には、優れた楽器のコレクションがあります。ドレスデン観光も、有名なゼンパーオペラを見なくては、完全とはいえません。

魅力的な風景

都市以外でもザクセンでは、たくさん発見するものがあります。ザクセンのスイス国立公園はヨーロッパでも極めて美しく、ドラマチックな自然があります。山のように見えるものは、かつての海底でした。他のザクセンの山地は、本物です。ザクセンのオーバーヴァーゼンタールは、ドイツで最高地にある都市です。他の地では、イタリアに似ている風景が見られます。特にワイン栽培をしているエルベ川沿いは、温かな風景が続きます。自然物を風景画のように配置したムスカウ公園は、ユネスコ世界遺産で、19世紀の代表的な庭園です。

伝統的な無上の楽しみ

「コーヒーザクセン人」と、ザクセン人は自らアイロニーをもって呼んでいます。ザクセン人は特にコーヒーが好きです。おそらくこの名前は、ザクセン人が美食に特に関心があるという事実から来ているのでしょう。バイエルン人ではなくザクセン人が、ドイツで最もビールを飲み、それもピヤガーデンで楽しみます。850年前からドレスデンとマイセン周辺ではワインが栽培されています。ライプチヒのカフェ 「コフェー・バウム」は、ヨーロッパで最古のカフェのひとつです。ドレスデンでヨーロッパ磁器が生まれ、宮廷や市民社会にコーヒーをもたらしました。印象的なのは、マイセン陶器工場で経験する(茶道のような)コーヒーセレモニーです。伝統的なザクセンの午後のコーヒータイムには、アイヤーシェッケ(ペイクド・チーズケーキ)、ライプチガー・レアヒェ(マドレーヌに似た焼き菓子)やクリストシュレン(クリスマスケーキ)などのザクセンのケーキが欠かせません。ザクセンでも幾人か星付きシェフが存在し、それもお得な値段で味わえます。ライプチヒには、ドイツの国民作家ヨハン・ボルフガング・フォン・ゲーテが彼の代表作「ファウスト」のインスピレーションを得たアウエルバッハス・ケラーがあり、世界で最も有名なレストランのひとつです。



一番きれいな季節

ザクセンなくしてドイツのクリスマスはありえないのでは？ エルツ山地では、くるみ割り人形、けむり出し人形、クリスマスアーチ、クリスマスピラミッドなど、クリスマスの部屋の飾りつけに必要なものはほとんどすべて考案されました。これらは、今でも根付いている鉱業の伝統から発展しました。クリスマスシーズンでは、鉱山労働者の行進、メッテンシヒト(クリスマス前最後の鉱山労働者シフトの祭り)、フッチェンアーベント(クリスマスケーキを食べながら、飾りつけを作ったり歌を歌う風習)の観光をお勧めします。特に多くの工芸職人がいるザイフェンでは、1年365日がクリスマスです。クリスマスシーズンでは、110の突起があるヘルンフートの星が、世界を照らします。クリスマス菓子であるブルスニッツのスピッツェと他のレープクーヘンも有名です。またドレスデンのクリストシュレン(クリスマスケ

ーキ)も欠かせません。ドレスデンのシュトリーツェルマルクトは、ドイツで最古のクリスマス市場で、ザクセンそしてドイツのクリスマスをいどるすべてがあります。

自動車生産の偉大な歴史

100年以上も前からザクセンでは、自動車が製造されています。ホルヒというブランドの自動車は、第2次世界大戦まで、デラックスでエレガンスな高級車の代名詞でした。今日ではボルシェ、BMW、フォルクスワーゲンがこの伝統に根付いた自動車を製造しています。ライプチヒのボルシェ工場やザクセンリンクでは、コースで運転できます。世界でも特別な工場は、ドレスデンのフォルクスワーゲンのガラス張り工場です。アウディの発祥地である自動車工場跡には、ザクセンの偉大な自動車の歴史を展示しているアウグスト・ホルヒ博物館があります。



絶対に見る価値のある観光名所



ヨーロッパ最古の磁器

300年以上前から、ザクセンの首都であったマイセンでは、最高の工芸・芸術品である磁器を生産しています。この磁器工場では、見学工房や博物館も見学できます。ショップやアウトレットでこれら的高级品をショッピングできます。



時計製造技術の頂点

製品名の下に「Glashütte i. Sa.」とある時計は、同名のザクセンの小都市で製造され、世界最高級の時計です。グラスヒュッテのドイツ時計博物館とグラスヒュッテ・オリジナルのガラス張りの工場が長い伝統をうかがわせます。



世界で一番美しい牛乳店

1998年に乳製品加工工場プントは、ギネスブックに「世界で一番美しい牛乳店」として登録されました。以前の乳製品大企業の本店は、1891年に設立され、ドレスデンのアーティストがデザインしたヴィレロイ & ボッホ社のタイルで完全に内装されています。

アウディの発祥地

ツヴィッカウのかつてのアウディ工場では、今日、会社の設立者の名にちなんだアウグスト・ホルヒ博物館があります。展示されているのは、アウディの戦前の自動車とそのブランドであるホルヒ、ヴァンデラー、DKW また、トラバントなどの旧東独の自動車や多くのプロトタイプです。



ドイツ・クリスマスの故郷

チェコとの国境に近い小さい村ザイフェンでは、クルミ割り人形やけむり出し人形が考案され、毎日がクリスマスです。おもちゃ職人の見学工房やショップまたエルツ山地のおもちゃ博物館には世界中の観光客が訪れます。



最も変わった自動車工場

フォルクスワーゲンのガラス張りの工場では、作業員が白衣を着て、高級車「ファエトン」を組み立てています。ここでは、全生産工程を見学することができます。全部品は、路面電車で供給されます。ロビーでは、定期的に文化イベントが開催されます。



世界で一番有名な天使

ラファエルの名作「システィーナの聖母」の下部にいる天使二人は世界中で有名であり、複製はいたるところにあります。原画を見れば、ドレスデンのアルテ・マイスター古典巨匠絵画館にいらっしゃってください。



音楽の都

音楽史から見ると、ライプチヒはウィーンに引けを取りません。ライプチヒの音楽の軌跡は、バッハの墓から、ヴァーグナーの出生地、シューマンやメンデルスゾーンに住居、ゲバントハウスや他の名所へとこの伝統が続いています。



ヨーロッパの高級ワイン体験

ザクセン州立ぶどう園ヴァッカーバルト城のガラス張りのワイン工場では、選りすぐったワインやスパークリングワインをシャンペンのように醸造するところが見学できます。城と公園は、文化イベントや結婚式に格好な舞台として使われます。

映画監督のパラダイス

人口が5万人に対して4千件の貴重な歴史的建築物のある、魅力的な都市ゲルリッツは、ドイツで最大の文化財都市です。多くの映画の舞台に選ばれ、例えばジャッキー・チャンの映画「80日間世界一周」やアカデミー賞を取った「愛を読むひと」にも使われました。



夢が現実になる所

ライプチヒのボルシェ工場のカスタマーセンターは、一目見ただけではUFOが到着したように見えます。しかし真の宇宙体験は、FIS認証されたテストコースとオフロードコースを試乗または同乗して味わえるでしょう。



現代美術センター

かつてヨーロッパ大陸で最大の綿糸紡績工場があった所は、現代美術センターになり、観光客が頻りに訪れる所となりました。100名以上の芸術家がアトリエを構え、いくつかのギャラリーがあります。



ドイツ統合の発祥地

ライプチヒのニコライ教会の平和の祈りで始まり、1989年40万人までの参加者が平和デモに参加して、恐れられていた東独国家保安庁まで行進しました。共産主義のドイツ民主主義共和国は崩壊し、ドイツは統合されました。



最初のプロテスタント教会建築物

かつてのザクセンの首都でもあったトルガウに、ハルテンフェルス城の教会が、マルティン・ルターの理想構想に基づいて設立され、1544年にルターにより落成式がおこなわれました。世界初のプロテスタント教会建築物は、多くの教会の模範となりました。



過去との決別

ドレスデンのドイツ連邦国防軍軍事歴史博物館ほど過去との決別を表現しているのは、ドイツの他の博物館では例を見ません。歴史的武器庫には、ドラマチックで象徴的なくさび形が形成されています。展示のコンセプトはひとつ、戦争の人間に対する影響です。



石鐘

2005年10月30日に、バロック様式の傑作であるドレスデンの聖母教会が、世界中からの寄付金を基に12年にわたる原物に基づく修復作業の後、再び公開されました。この教会とともに、ドレスデン旧市街地区ノイマルクトも、よみがえりました。

アクセス

ザクセンには、ドレスデンとライプチヒに国際空港があります。フランクフルトやミュンヘンから飛行機で45分しかかかりません。プラハやベルリンからも飛べます。プラハからドレスデンまでわずか1時間半、ベルリンからドレスデンまで2時間です。幾つかの遠距離バス路線があり、ドレスデンやライプチヒ、他のドイツの大都市や外国の首都間を網羅されています。ドレスデンとライプチヒは、またドイツ鉄道の高速度列車ICE路線に接続しています。ユーロシティ列車で、プラハ、ウィーン、ブタペスト、ベルリンからドレスデンに到着できます。ドレスデンは、また夜行列車CityNightLineでチューリヒ、アムステルダム、コペンハーゲンとも接続しています。ザクセン州内では、ザクセンチケットで手軽に旅行でき、市内あるいは地域のカードで、公共交通機関の利用や美術館・博物館または他の施設の割引が可能になります。自動車でもザクセン州へのアクセスは簡単です。ドレスデンは、ミュンヘン、フランクフルト、ベルリンまたプラハやクラクフなども高速道路で接続しています。



最古の外輪汽船

旧市街は、建築物や美術館で有名です。しかしドレスデンの真の美は、エルベ川沿いを歴史的蒸気船で遊覧してみてわかります。エルベ川は、ドレスデンを30kmに渡り縦断し、その岸辺に「建築と自然の完璧な調和」をかもしだします。



ヨーロッパの最高地の要塞

要塞ケーニヒシュタインは、征服されたことは一度もなく、自然公園ザクセンのスイスの典型的な卓上山地のひとつにあり、ヨーロッパで最も美しい風景のひとつです。堅固なこの要塞は、不穏な時代におけるザクセンの統治一族とその宝物の避難場所でした。

世界で有名な宝物館

最初の統治者として、ザクセン選帝侯アウグスト強王が宝物館を開館しました。豪華な内装のある部屋にそのまま陳列されている芸術品は、ドレスデンの歴史的緑の丸天井で鑑賞できます。1階上では、無反射ガラスのケースにある数千点の宝飾品を、近くで鑑賞できます。



現代建築の象徴

「両親2人、子供4人、お客様が1人か2人用の単なる現代的な家」になるはずでした。この条件で、レーパウ市のシュミンケ家がハンス・シャロウンの設計により建てられ、「パウハウス」のすばらしい具体例が誕生し、今ではどの建築辞典にも掲載されています。

お問い合わせ

Tourismus Marketing Gesellschaft Sachsen
Bautzner Strasse 45-47
01099 Dresden
Germany
Tel: +49 351 491700
Fax: +49 351 4969306
Email: info@sachsen-tour.de

WWW.VISITSAXONY.COM